

CONTENTS

- 01 ■ 担当理事ご挨拶、男女共同参画推進センター運営委員会新委員紹介
- 02 ■ 部局長インタビュー（経法学部長、農学部長）
- 03 ■ 男女共同参画関連図書のご紹介
- 04 ■ NEWS&TOPICS ■ 子育てコラムリレー

担当理事ごあいさつ

担当理事ご挨拶



理事（総務担当）
たかぐち つとむ
高口 努

昨年10月1日付けで総務担当の理事を拝命いたしました高口努と申します。

男女共同参画社会の実現は、我が国社会の最重要課題の一つであります、なかなかその実現は道半ばです。大学における男女共同参画の推進というと、女性教職員の人数や管理職比率のみに目が行きがちですが、一人一人の能力・個性を最大限発揮するという自己実現につながるだけでなく、大学組織全体の発展

のために不可欠であるのみならず、働きやすい職場の実現にとっても必須です。また、そのことは男性のワーク・ライフ・バランスにもつながるものです。このため強い意志を持って粘り強く取り組んでいかなければなりません。

本学においては、男女共同参画推進センターを中心として、これまで着実に男女共同参画、女性活躍推進に向けた女性研究者支援、意識啓発等への取組が進めてきておられますので、私も中村学長の下、担当理事として教職員や学生の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、できる限りアイデアを出して信州大学における男女共同参画の発展・充実に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

担当理事ご挨拶



理事
（ダイバーシティ推進担当）
はまの みやこ
浜野 京

社会環境が大きく変わるなかにあつて、信州大学には、地域の「知」をリードし社会にインパクトを産み出すイノベーションハブとしての機能がますます求められています。実際、社会のイノベーターになるという教職員や学生の皆様もたくさんおられるのは心強い限りですが、まずは信大がより開かれた魅力的な存在になることが必要ではないでしょうか。男女共同参画の推進もそのための一つの取り組みです。

「研究者も、管理職もなかなか女性の応募者がいない」「自分は管理職を引き受けるようなタイプではない」等々、現状の課題を改善できない様々な声が聞こえてきます。しかし、信大でより開かれた魅力的な人材を育成したいと願い、イノベーションを高めるミッションをもった教育の場に身を置くのであれば、その気持ちを向ける先が学生であれ、研究者であれ、職員であれ、我が子であっても、私たち自らが男女共同参画くらい推進できなくてはならないでしょうか？多様な働き方とワーク・ライフ・バランスも推進しつつ、課題解決を進めてまいりたいと思っておりますので、改めて皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

男女共同参画推進センター運営委員会 新委員ご紹介

令和4年4月より、7名の教職員が新たに委員となりました。どうぞよろしくお願いいたします。



学術研究院教育学系教授
学術研究院繊維学系准教授
工学部総務グループ主査
総務部人事課長

上村 恵津子
寺本 彰
北澤 直樹
市川 宏明

学術研究院保健学系教授
学術研究院医学系（附属病院）助教
医学部附属病院副臨床検査技師長

中込 さと子
永井 史緒
石嶺 南生

経法学部長 農学部長 インタビュー

令和4年4月1日、経法学部長に就任された廣瀬先生と、農学部長に就任された米倉先生に中島男女共同参画推進センター長が学部における男女共同参画の現状等についてインタビューをしました。

経法学部長インタビュー



ひろせ じゅんいち
廣瀬 純夫 経法学部長

● 経法学部の男女共同参画

学生的女子比率は32%（令和4年4月現在）です。経済学についてはどうしても数学が必須になるので、そこが敬遠されてしまう大きな要因の一つかなと思います。ただ、総合法律学科のほうでも半分が女子ということはないので、社会科学に興味を持ってくれる女性が、少ないのかもしれないですね。経済学や法学は、高校までで学習する機会が乏しいため、社会科学を学ぶ魅力について、こちらの情報発信が足りないのかもしれない。

教員については、教員の採用に際して、公募要領の中で、「業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし、これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。」とし、最終候補者を決めるにあたって、評価が同じであれば女性を優先するということを強調しています。しかし、教員の採用は文系の学部では一番大きな投資ですので、応募者の中に、どれだけたくさんの方がいるか、つまり、潜在的な候補者として、社会科学分野のジョブマーケット自体に女性がどのくらい多数いるかという

ことが、どれだけ女性教員を採用できるかに影響してきてしまいます。一つ一つの学部の力ではどうにもならないところがありますね。

文系はそもそも性別に関係なく、全体として大学院に進学する人が少ないんですよ。出口として考えたとき、文系の場合は大学院までいっても就職機会が少ないか、あるいは、大学院まで進学したことを評価されない場合が多いように感じています。文系の大学院出身で、企業の現場でそのことがどれだけ優遇されているのかということあまり聞いたことがなく、就職のチャンスが少なくなるかもしれないところが……。欧米のように、大学院で専門教育を受けることが評価されるようにならないでしょうかと思いますね。



● 経法学部のワーク・ライフ・バランス

学部長に就任した際、「イクボス宣言」をしました。宣言をするにあたって、色々なことを調べて頭を悩ませたんですが、「日本経済学会」という学会の2016年の大会で、女性の就業の問題についてのパネルディスカッションがあり、ジェンダーの問題について、IMFで、識字率などの教育格差や、女性の労働参加率などを基に、国別の男女格差の程度を測る指数を作成したところ、所得格差と男女格差の間に強い相関があることを明らかにしています。さらに、男女格差と、輸出および生産といったマクロ経済変数の間に、強い相関が見出されているそうです。現時点で分かっていることは、あくまで“相関”であって、因果関係については、何が原因かは留保するという話でした。ただ社会一般で見て、ちょっと前の時代まで、ジェンダーの問題というのは、社会的正義や市民的自由という視点から、男女平等という発想だったと思います。しかし、経済学の世界では、多様性を受け入れること自体が社会の豊かさとか、経済発展につながっていく可能性があるんじゃないかという視点があります。そういう意味では今回、イクボス宣言の中でも、社会科学の教育と研究を担う部局として、そのような問題意識を、共通認識として持てるようになれればいいんじゃないかなということを書かせて頂いています。

農学部長インタビュー



よねくら しんいち
米倉 真一 農学部長

● 農学部的女性比率

学生でみると、女子学生は多いですね。農学部全体でいうと、5：5くらい（令和4年5月現在49.5%）で、コース別で見ると年度によっては7割が女子学生という時もあります。それはおそらく、この組織が何かを頑張ったからというより、日本の風潮というのが大きく、理系に進学する女子は、生物学系への興味が大きい方が多いので、農学部や薬学部へ進学する人が多くなっています。これは信州大学だけでなく、全国的な傾向ですね。自分たちが頑張った結果、女子学生比率が高いんだと言いたいところですが、日本のトレンドが農学部に来ているというのがあつちだと思います。

あとは農学部には女子学生が多い理由としては、農学部では動物や植物を扱いますので、例えば動物が好きだとか、花が好きだとか、学問的で何かを探求するというより、子どものころから興味を持っていて農学部を選ぶ感じの子が多いような気がしますね。

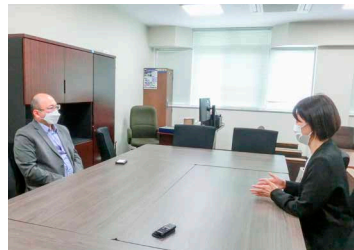
教員でみると、私自身は2010年にここにきて、その当時女性教員は2人平成23年5月現在)しかいませんでした。その後、女性限定公募をやりました。ただそのあと普通に公募をして女性教員が採用され、今は11人（令和4年4月1日現在）と、比較的多くなっています。年齢層で見るとやはり若い世代の教員が多いですね。今後、そういう方たちが管理職になり、リードする立場になると色々変わっていくのかなと思います。

ただ、現在、確かに女子学生の割合は高いですが、彼女たちが博士課程まで進学するかというのはまた別の話ですね。やはり教員を増やすためには博士課程まで行き、学問を突き詰めてもらわないといけないのがあって、それは男子も女子も変わらないのですが、博士課程までどのように流れを作っていくかというのが一つの大きな課題だと思います。

● これから望むこと

日本社会全体の価値観・概念がやっぱりこうあるべきだ、というのが強いんですよね。そういう価値観がなくなると大学もよくなっていくと思います。だからこそ男女共同参画推進センターの役割というのは重要で、概念を変えていくということが大事だと思いますね。

こういう活動は大変だと思うんですが、支援はもちろん、考え方を広めるということも大事ですので、意識啓発を頑張ってもらえたらと思います。この手の話は煙たがられることもありますが、啓発をしていただけたら、ちょっとずつ空気とか環境・価値観が変わっていくと思います。



令和4年5月に取材したインタビューを抜粋掲載しております。インタビュー全文は男女共同参画推進センターのウェブサイトからご覧いただけます。 <https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/awareness/interview.php>

教育学部長インタビューは次号(NO.43)に掲載いたします。

6月23日から29日の1週間は 男女共同参画週間です



男女共同参画推進センターでは、今年度も中央図書館で男女共同参画関連図書の企画展示を実施します(6月23日～終了未定)。今回はその中の1冊『**パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ!**』(著者: **前田晃平**) をご紹介しします。

前田晃平 / 著書『**パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ!**』より抜粋

ママの「ちょっと」とパパの「ちょっと」は ちょっと違うのです。

私にとって、2カ月の育休は本当に幸せな体験でした。こんなにじっくり家族と時間を共有できたのは初めてですし、何より、娘の成長を間近で見守ることができました。この機会をくれた会社のみんなに、心から感謝しています。

なんだけど! この”幸せ”って、美味しいものを食べた時の「幸せ〜♡」とか、温泉に入った時の「幸せ……☺」とはまったくニュアンスが違います。

例えるなら、新卒として取り組んだ初の大仕事です。右も左もわからないけど、やることは山積み。顧客に叱られ、先輩に熱い指導を受け、半ベツかきながら深夜までがつつり作業。取り組んでいる最中はめっちゃツライ。もうほんとツライ。でも、絶対に成果を出してやろうと、ひたむきに頑張っていました。そして、終わってみるとキツかったことも含めてみんな良い思い出! 幸せ! みたいな。私にとっての育休は、まさにそんな感じでした。

もう本当に正直なところ、仕事に復帰した時は「仕事の方が楽じゃねーか……!」って思ったもん。

何がそんなにツラかったのかと思えば、まあ色々ありましたが、大きかったのは妻との喧嘩(だいたい負け戦)が激増したこと。ただでさえカオスな新生児育児の現場なのに、たいていピリピリムード。

まだまだ世間じゃたった7%の男性育休を取得して、しかも私は(少なくとも当人の主観では)本気で育児に向き合っているはずなのに、なぜ喧嘩が増えてしまうのか!?

ひとつ、思い当たる節があります。うちの場合、だいたい妻のこのひとことで喧嘩の火蓋がきって落とされるのです。

「なんでそういうことするの?」 ちょっと考えればわかるでしょ!!」

私が良かれと思って言ったりやったり(あるいは、やらなかったり)することが、なぜか妻の地雷を踏み抜いてしまうという怪奇現象が起きます。

でもこのひとことが妻から飛び出す時、私には“ちょっと”

考えるどころか、雑巾並みに知恵を絞ってもわかりません。そしてこの「なんで怒られてるのかわからない」という態度がさらに事態を悪化させていくのです。

後で妻の機嫌が良かった時に怒った理由を聞いてみると、「たしかにそりゃ俺が悪かった」と思う場合もあれば「え〜〜③」って思う場合もあります。

(中略)

そうやってモヤモヤしていたある日の深夜、というか早朝。いつも通り娘のはちきれんばかりの泣き声で目を覚ました。この時はまだ娘も1カ月になってなくて、おっぱいをうまく飲めませんでした。

妻だって新人ママなので、うまくあげることができません。おっぱいも乳腺炎でとても痛い時でした。娘だけでなく、妻まで泣いてしまっていました。

おっぱいを飲みたいのに飲めない娘と、あげたいのにあげられないお母さん。母娘で悲しそうにわんわん泣きながらのひどい授乳の光景でした。よくテレビとかで出てくる神々しい母子の授乳シーンはいったいなんだったのか…

私はあわてて娘が少しでもおっぱいを飲みやすいように体勢のサポートをしました。そうしたら、なんとかチュパチュパ飲み始めてくれました。よ、よかった……と思って一息ついた時、妻が涙を流しながら「ありがとう」と言ってくれました。この時、わかった気がしました。育休は、取りたいとか取りたくないとか、そういうものじゃなくて、取らなきゃいけないもんなんだと。

喧嘩するくらいいいじゃないか。そんなことより、パートナーを子育てという戦場に、二人で戦おうと誓った戦場に、たったひとりで孤軍奮闘させるわけにはいかない。そんな風に思うようになりました。

それから育休を終えて、今は私も妻も仕事に復帰しています。相変わらず夫婦喧嘩は定期的に勃発しますが、この育休があったからこそ、夫婦の信頼関係を築くことができました。

そして、実はこれが育休で一番大切なことなのかもしれません。子育てという試練はこれからの方が圧倒的に長いわけですから、パートナーとの信頼関係は何よりも大切。育休はそれを築く最高のチャンスです。

このほかにもLGBT/SOGI関連図書を中心に、男性の育児・家事参加、ダイバーシティ、人権関連などの図書を取り揃えております。中央図書館にお越しの際は是非お立ち寄りください。(場所: 中央図書館南2階テーマブックスB(エレベーターホール))



蔵書リストはこちらからご覧いただけます。
ブックログ>
信州大学男女共同参画推進センターの本棚
<https://booklog.jp/users/sufre>(外部サイト)

他キャンパスの図書は、最寄りキャンパスの図書館へ取寄せして貸出できます。附属図書館OPAC (<https://www-lib.shinshu-u.ac.jp/opc/>) で読みたい図書を検索して、所蔵情報の「予約・取寄」ボタンからお申込みください。



ベビーシッター派遣事業割引券の配布を開始しました

令和4年度分の割引券の配布を開始しました。
詳細は男女共同参画推進センターのホームページをご覧ください。
<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/support/babysitter.php>



イクボス・あったかボス宣言を更新しました

令和4年4月1日の新学部長就任、人事異動に伴い、イクボス宣言を行っていただきました。
宣言内容は男女共同参画推進センターのホームページをご覧ください。
<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/awareness/iku-boss.php>

令和4年4月1日、特別休暇が変わりました

男性の育児参加のための特別休暇が 生後1年まで取得可能になりました

男性の育児参加のための特別休暇が生後1年まで取得可能になりました！これまで子の出生後、8週間まで取得可能だった育児参加休暇が、1歳に達する日まで取得可能になりました。

不妊治療のための特別休暇が 新設されました

不妊治療のために通院する場合、1年度につき5日または10日(体外受精および顕微授精)の特別休暇が付与されます。
常勤職員・非常勤職員ともに、有給の特別休暇です。

非常勤職員の特別休暇が分単位で 取得可能になりました

非常勤職員の特別休暇はこれまで1日または1時間単位でしか取得できませんでしたが、1日、半日、1時間、1分単位での取得が可能になりました。

特別休暇の付与は 「年度」単位になりました

これまで年単位(1月～12月)で付与されていた特別休暇(夏季休暇・子の看護休暇・介護休暇)が年度単位(4月～3月)の付与になりました。

詳細は該当の規程を
ご覧ください

- 国立大学法人信州大学職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程
- 国立大学法人信州大学非常勤職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程
- 国立大学法人信州大学シニア雇用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

我が家は、5歳の長男と1歳の長女がいる4人家族です。平日の朝は私が子供達を保育園へ送り、帰りは妻がお迎えをしています。仕事で帰りが遅くなるので夕食は妻と子供たちに先に済ませてもらっていますが、私の帰宅後は大忙しです。我が家では子供と決めて9時までに寝ることを目標にしているのですが、まだまだ手のかかる年頃なので、ぐずぐずしている子供たちをなだめすかしながらおもちゃの片付けからお風呂に入って歯を磨いて、と布団に入るまでが毎日大変です。9時を過ぎると寝不足で翌日以降のご機嫌が悪くなるので、親も親で必死になっています。その後、妻が寝かしつけをしている間に、残った家事



おざわ しゅうすけ
小澤 秀介 薬剤主任 | 医学部附属病院薬剤部



家族構成

妻(医学部附属病院勤務)
・長男(5歳)・長女(1歳)

あなたのリラックス方は？
子供たちの寝顔を眺めること

一式etc…を済ませるのが私の担当です。

一方、休日は子供たちと全力で遊ぶようにしています。最近では、毎週のように大きな公園におでかけして長男がハマっているポップアップテントを張っています。テントの中でご飯を食べたり、長男と一緒に自転車に乗ったりと、子供と一緒に汗をかくのが休日の日課となっています。

コロナ禍もあり、なかなか遠出や家族旅行が難しいご時世ですが、何気ない休日でも子供にとって家族の楽しい思い出になるようにと思っています。



今回はこの方！

山浦 麻貴先生

医学部附属病院臨床研究支援センター 助教(診療)

お問い合わせ
信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6-口
内線 831-4018

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-17-1
内線 821-5693

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索

